

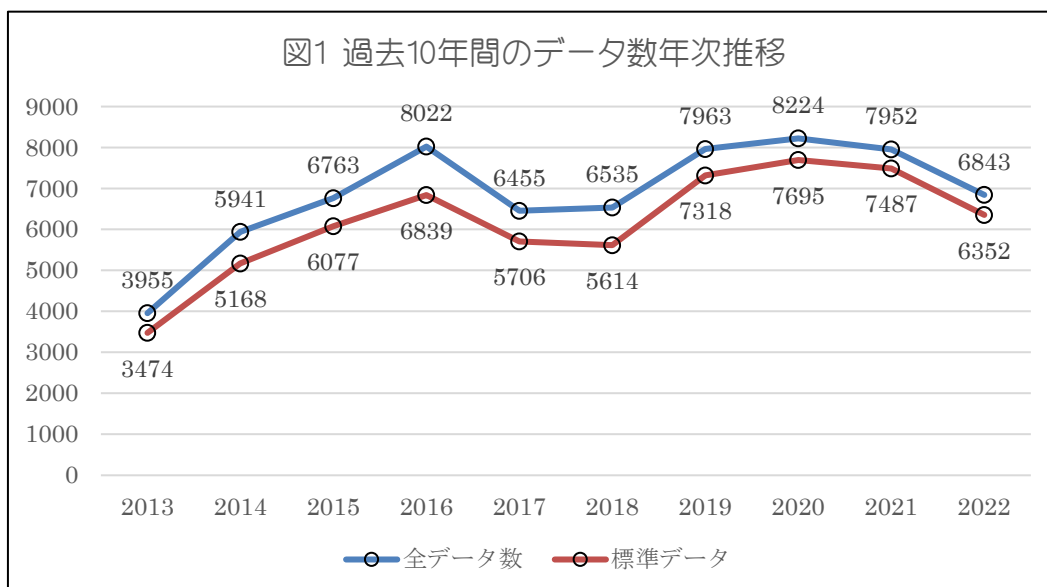
2022年 やまなしの野鳥

目次

1. データの状況
 - (1)データ数の推移 (2)標準データ
 - (3)メッシュ別・環境別データ数 (4)月別データ数
2. データの集計結果
 - 2-1 観察種
 - (1)2022年に観察された種
 - (2)年次推移
 - (3)月別種数
 - 2-2 観察羽数
 - (1)2022年の観察羽数
 - (2)年次推移
 - (3)月別羽数
3. 特記情報
 - (1)コホオアカ初確認
 - (2)クロハゲワシ初確認
 - (3)ハマシギの越冬
 - (4)コハクチョウの渡来

1. データの状況

(1) データ数の推移



(2) 標準データ

<標準データ>

ある1回分の調査・観察がラインセンサスや定点観察に準じて行われ、その時確認した種名・羽数等が1回分の調査・観察の結果として記録されているデータ。

<その他データ>

希少種など特定の種のみが記録されたデータ、羽数が多いなど特別な観察を恣意的に選り記録したデータ、羽数の記録がないデータなど標準データ以外のもの。

多くの場合は「標準データ」のみを対象にして集計・分析を行っています。

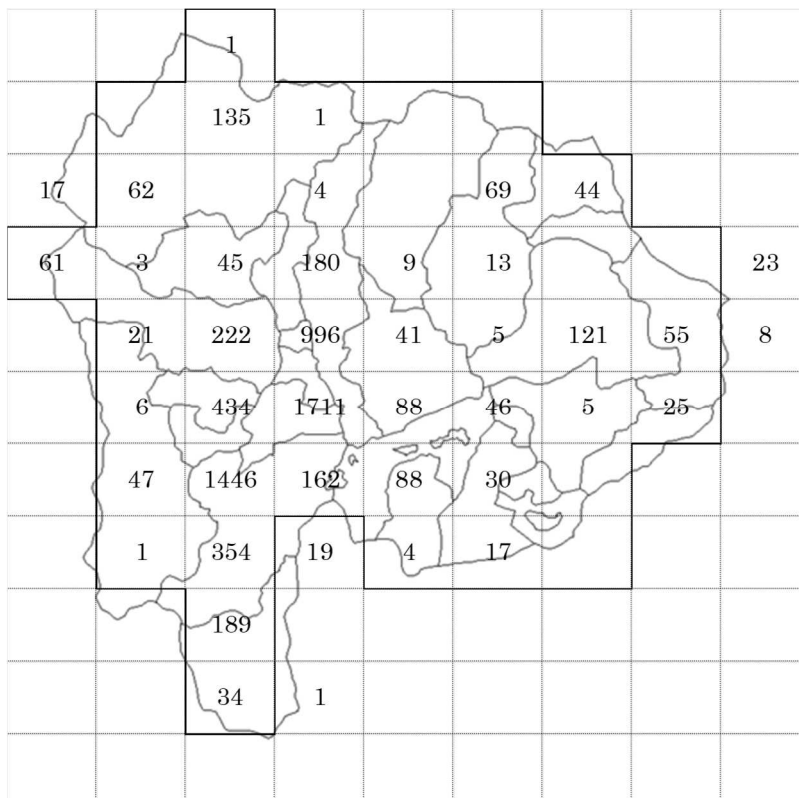


<注>データについて

ある観察で8羽のスズメが畑で採餌しているのを確認した時「スズメ ○年○月○日 ○市○町 採餌 畑」のような記録になりますがこれを1データとしています。ふつう1確認=1データですが、一定時間の調査・観察中に例えばスズメが複数回確認された場合1データにまとめて記録される場合もありますので、複数確認=1データの場合もあります。

(3) メッシュ別・環境別データ数

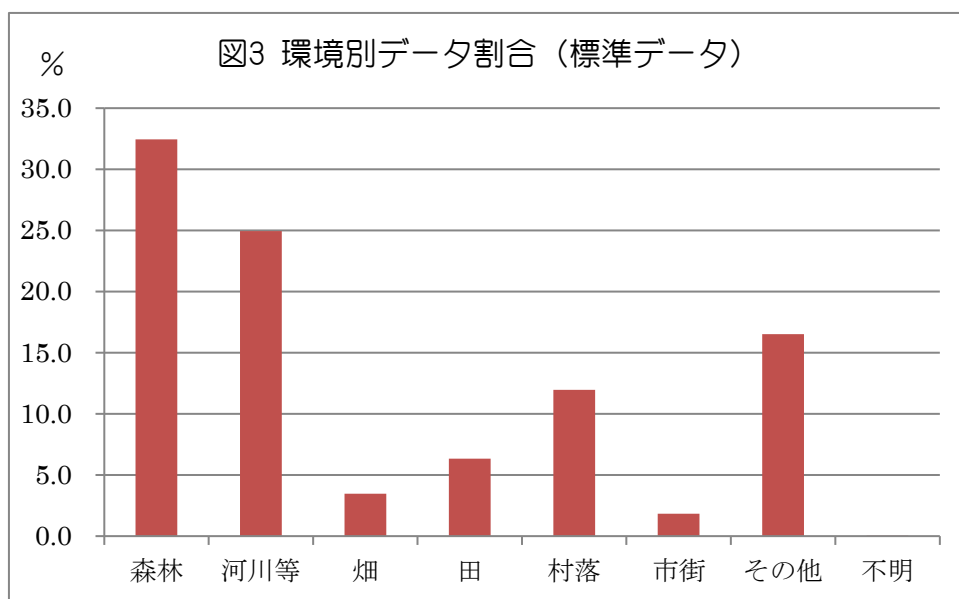
図2 メッシュ別データ数(全データ)



山梨県を65のメッシュで区切っています。1メッシュは10km×10kmの大きさです。

県境のメッシュは面積が小さかったり、山岳地で調査が困難なことから、現実的には図2の実線で囲まれた47メッシュを対象としています。

県中心部と周辺部のデータ数格差は依然として大きいです。

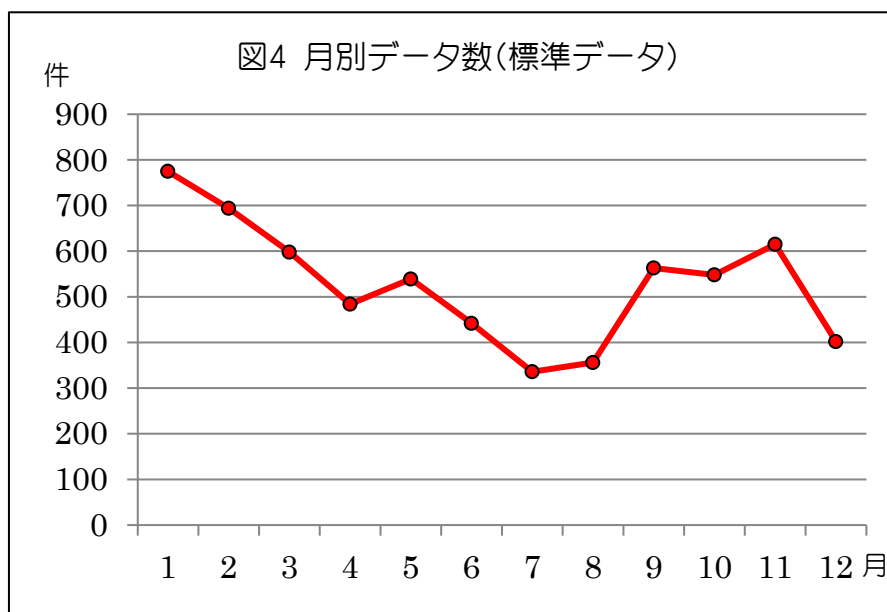


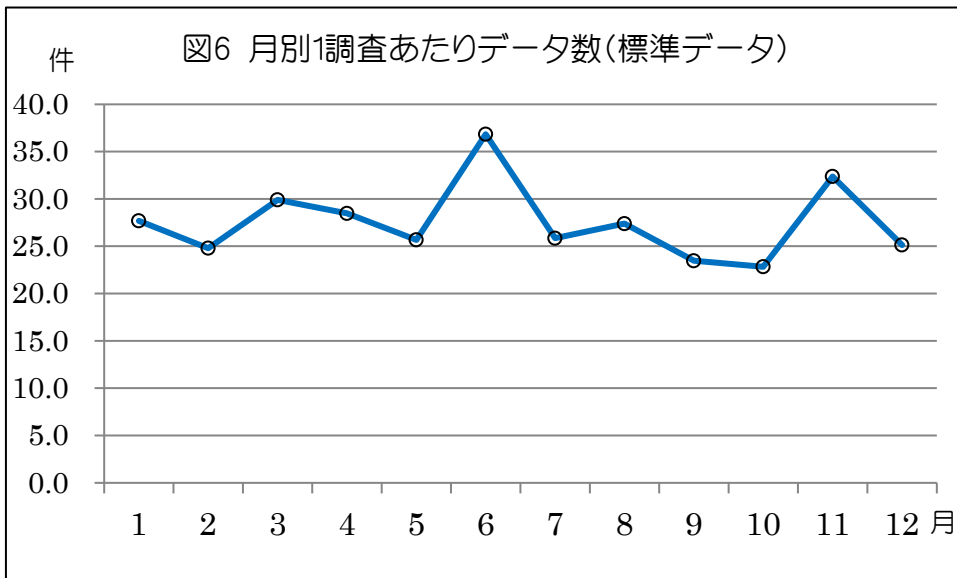
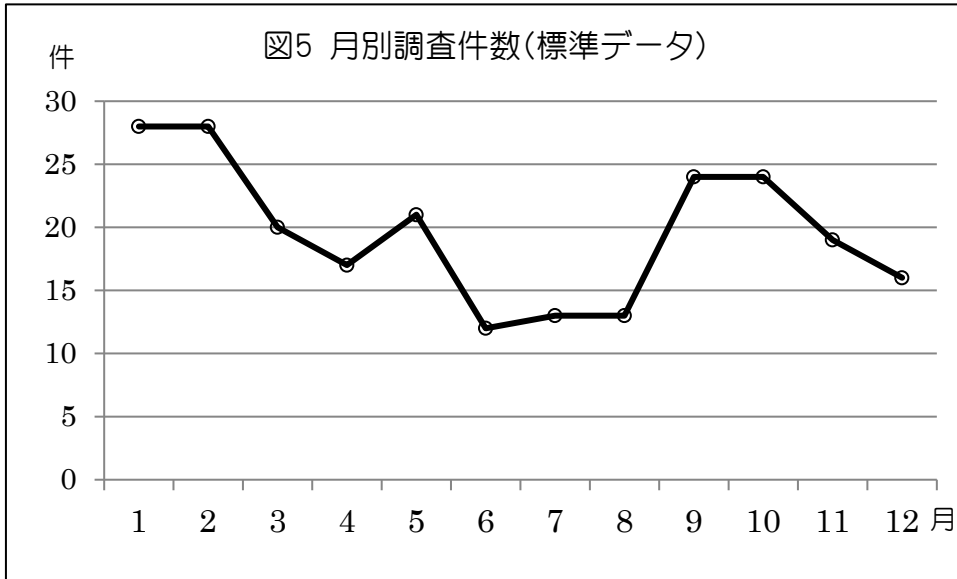
1データに複数の環境を含む場合もありますので、項目すべての合計は100%を超えています。毎年、森林・河川等のデータが多くを占めています。

これまでと同じで、2022年のデータの示す傾向も、地域的には盆地中心部の傾向、環境別では森林や河川等の傾向を強く反映しているといえます。

(4)月別データ数

月ごとのデータ数は、調査頻度に大きく左右されています。





2. データ集計結果

2-1 観察種数

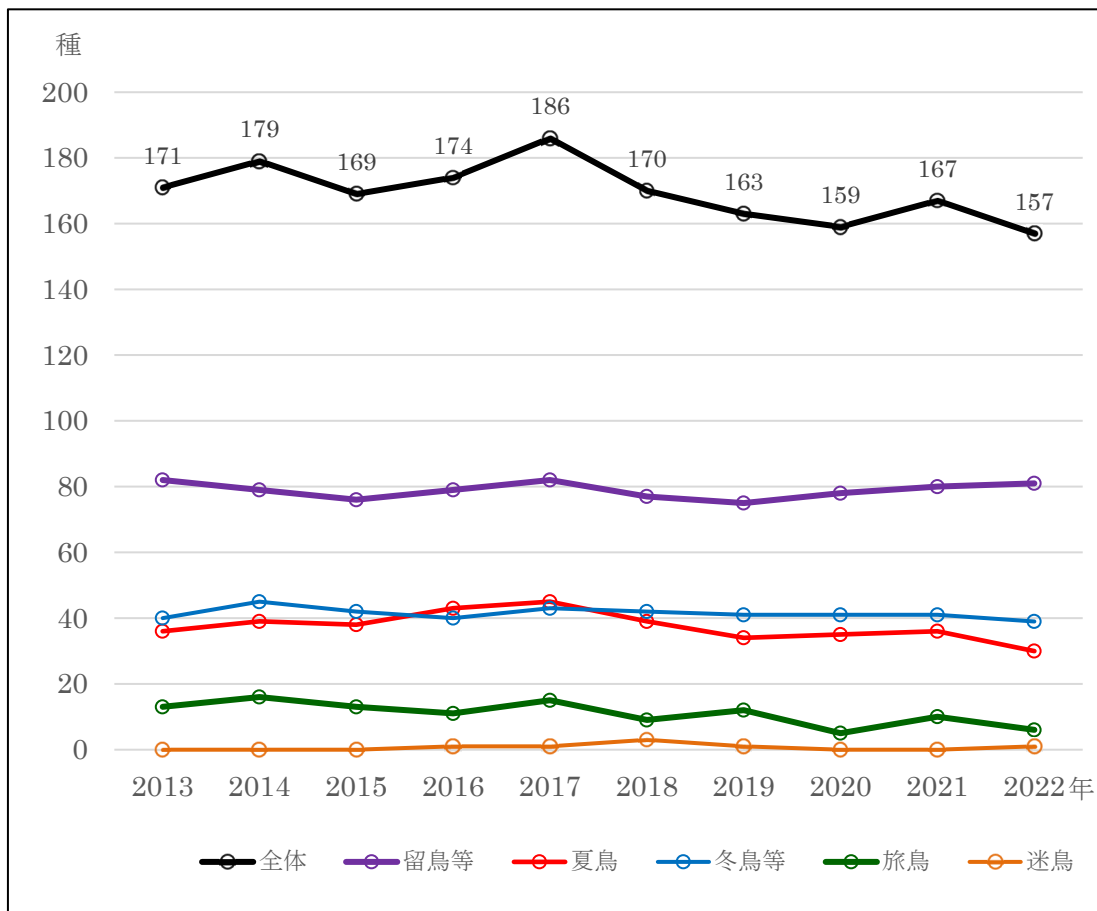
(1) 2022年に観察された種(全データ)

全体	157	割合(%)
留鳥等	81	51.6
夏鳥	30	19.1
冬鳥等	39	24.8
旅鳥	6	3.8
迷鳥	1	0.6

観察種の詳細は、「資料編」の表1(留鳥等)、表2(夏鳥)、表3(冬鳥等)、表4(旅鳥)、表5(迷鳥)をご覧ください。

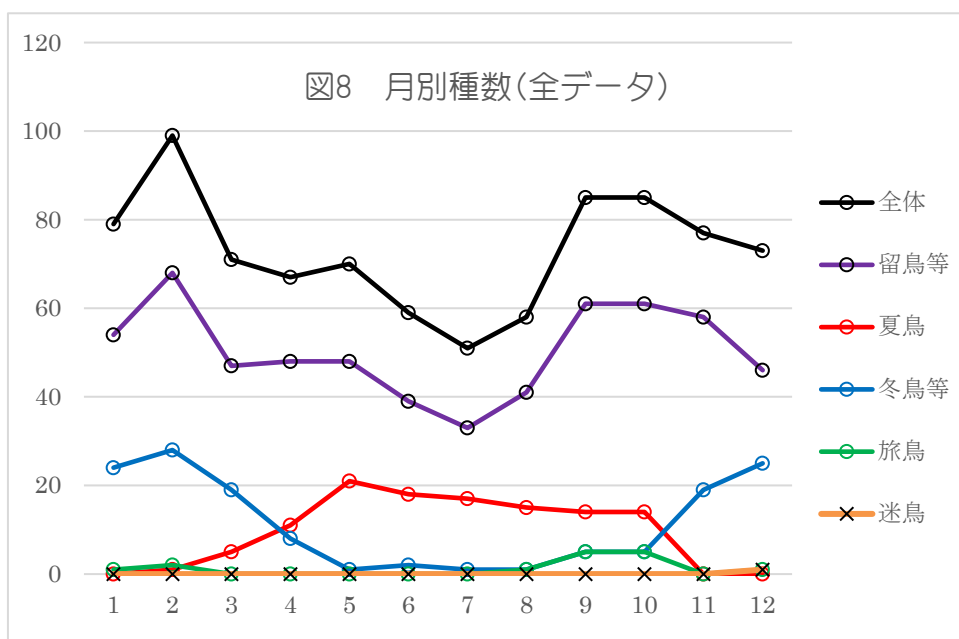
(2) 年次推移

図7 過去10年間の観察種数年次推移(全データ)



(3) 月別種数

図8 月別種数(全データ)



留鳥等：「漂鳥」、「留鳥・漂鳥」も含む

冬鳥等：「冬鳥・旅鳥」も含む

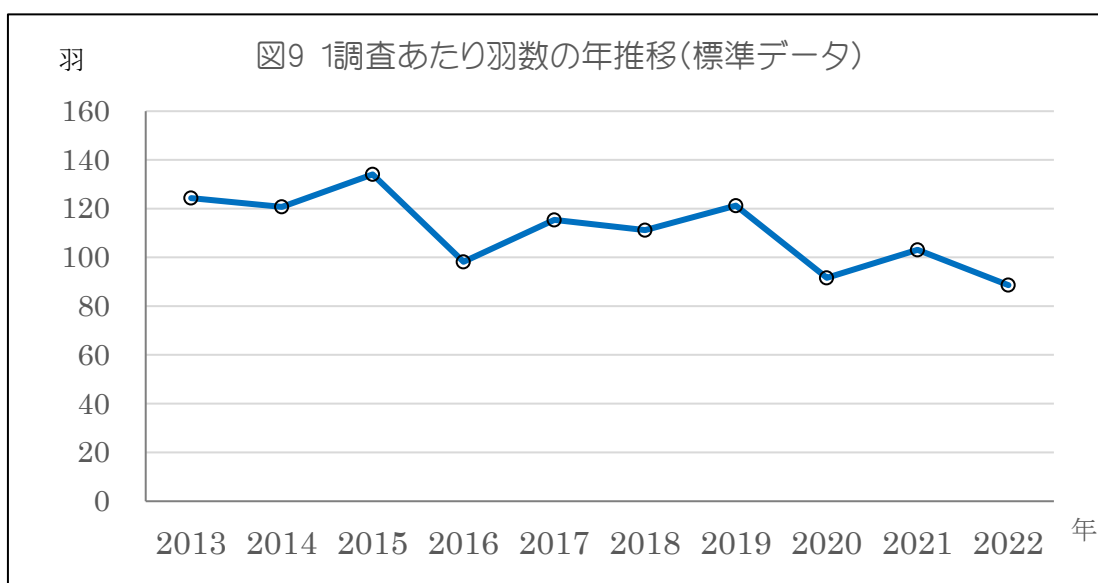
2-2 観察羽数(標準データ)

(1) 2022 年の観察羽数

	羽数(羽)	割合(%)
全体	20829	
留鳥等	13900	66.7
夏鳥	1152	5.5
冬鳥	5600	26.9
旅鳥	16	0.1
迷鳥	0	0.0
種外	161	0.8

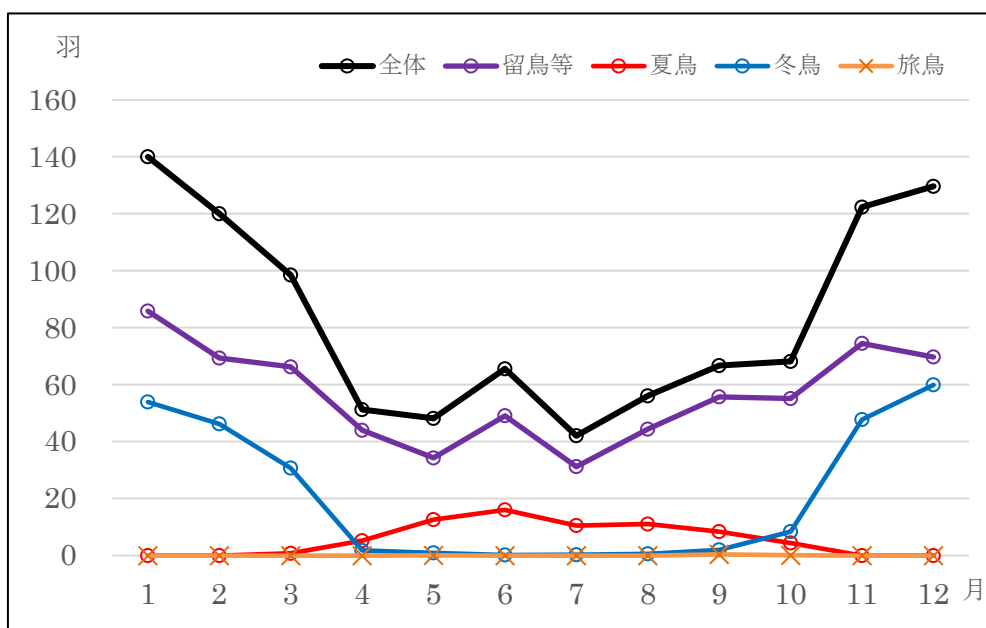
*種外：種が不明なもの、飼育由来と考えられるものなど

(2) 過去 10 年間の観察羽数の年次推移(標準データ)



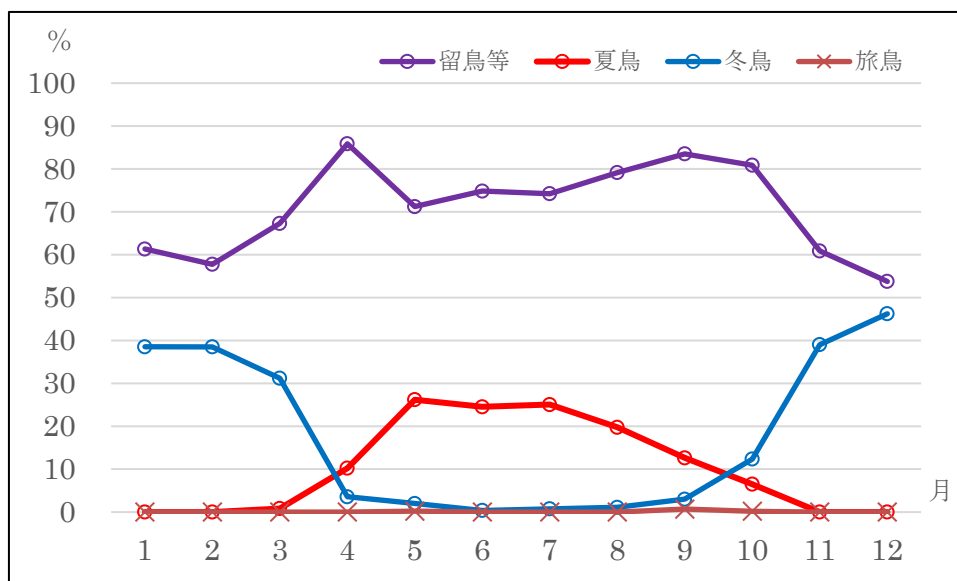
(3) 月別羽数

図 10 1 調査あたりの生息習性別月別羽数 (標準データ) 2022 年



調査件数が多い月は確認羽数も増えるので、この影響をできるだけ少なくして羽数の変化を見るために、1 調査あたりの羽数で月ごとの変化を見ています。

図 11 1 調査あたりの生息習性別羽数割合(標準データ) 2022 年



3. 特記情報

(1) コホオアカ、県内初確認

2022/2/11、コホオアカが県内で初めて確認・記録されました。

(2) クロハゲワシの初確認

2022/12/11、県内で初めてクロハゲワシが確認・記録されました。数日間、近辺に滞在していたようです。

(3) ハマシギの越冬

今冬もハマシギが越冬しました。ここ数年越冬数が少ない傾向です。1980年代から越冬の情報がありません。近年はここ16年連続で越冬しています。

(4) コハクチョウの渡来

2023年1月11日に盆地河川で成鳥4羽が確認されました。

2023/1/26 成鳥6、幼鳥2、計8羽。

2023/1/27 成鳥2、幼鳥1、計3羽。

確認期間、確認の内容から「越冬した」とまではいえず、「滞在した」という方が近いかもしれません。

2022 年のご協力ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。